

◆「スクスク」誕生のいきさつ  
1997年、アシックスの子ども靴「スクスク」が誕生しました。当時はちょうど、ハナコ世代や団塊ジュニアと呼ばれる人たちがお父さんやお母さんになるころ。生まれた時からスポーツシューズに親しんでいた世代が親になるため、海外ブランドの子ども靴が少しずつ日本に入ってきました。

アシックスでは以前から競技用シューズだけでなく、生活者向けに歩きやすいウォーキングシューズも開発していましたが、一方で子ども靴については、「いい靴」がないなど疑問に感じていました。

実際、子どもの親たちもそれほど子ども靴に関心がありませんでした。「スクスク」を導入する際、保護者に子ども靴に対する考えを調べると、返ってきたのは「どうせ子どもの足はすぐに大きくなる」という答え。また販売店からも「値段の高い子ども靴はいらない」など否定的な意見が聞かれました。

しかし、本当はまだ歩くこともままならない未熟な足の子どもこそ、いい靴が必要なのです。想像してください。13センチの足の子どもが17センチの靴を履くとします。

## 子どもたちに“いい靴を”

アシックス・マーケティング総括部主事  
江島 れいこ さん

これは大人に換算すると、26号の人が28号を履くことになりま  
す。まだ歩き方を学習中の子ども  
もが、こんな靴を履いていて歩  
けるはずがありません。

私たちは「スクスク」を開発  
するにあたり、「歩きやすいこ  
と」「動きやすいこと」を追求  
しました。

### ◆喜んで歩く子どもたち

子どもと大人の一番の違いは  
「成長すること」です。足の太  
きさはもちろん、足の形、歩き  
方、骨格構造まで変わっていき  
ます。つまり、その時々  
の状況に合った靴を選ぶことが必要と  
なります。

「スクスク」は「足の成長を  
守る靴」をテーマに、成長別に  
フアースト、ベビー、ミニの三  
つに分け、はだし感覚で歩  
きやすい靴として開発していま  
す。

ユーザーの方からは、「いつも、  
だっこだっこと言っていた子ど  
もが、この靴を履いたらバス停  
まで自分で歩いてくれた」「歩  
き方が変わった」など好意  
的な意見がたくさん寄せら  
れています。今後は、より

子どもの視点に立って「履  
きやすい靴」「子どもの運動  
欲求を満足させられる靴」を開  
発していきたいと考えています。



アシックスの子ども靴  
「スクスク」